

## 第2学年2組 森林環境学習 学習指導案

平成29年10月30日(月)第1校時

授業者:

### 1 学習のねらい

- 自然界における生物の相互関係や、自然と人間のかかわり方について感心を持つことができる。
- 生物と環境を知り、生態系への理解を深めることができる。
- 自然ふれあい体験活動を通して、生態系について興味・感心を持ち、環境保全の意義について自分の考えを持つことができる。

### 2 関連教科・学習年次

社会科	1 学年「世界のさまざまな地域」 2 学年「日本のさまざまな地域」
理科	1 学年「植物の世界」 2 学年「動物の生活と生物の変遷」 3 学年「生命の連続性」「地球とわたしたちの未来のために」
保健・体育	2 学年「傷害の防止」
技術・家庭	2 学年「エネルギー変換に関する技術」 3 学年「生物育成に関する技術」
道徳	「自然愛護」「生命の尊重」

### 3 指導計画【教科名】(総授業時間2時間)

- (1) 生物多様性と人間【理科】・・・・・・・・・・・・・・・・(1時間)(本時)
- (2) 自然ふれあい体験活動【総合的な学習】・・・・・・・・(1時間)

### 4 本時の目標

#### (1) 生物多様性と人間

自然環境内では、1つの生態系の中で種間・遺伝子間の多様性があることを知り、生物多様性について興味・関心を持ち、あわせて、環境保全や生物多様性について自分の考えを持つことができる。

#### (2) 自然ふれあい体験

散策コースに生息している生物の写真を撮影し、観察した特徴をまとめ、生物図鑑を作成する活動を通して、生物多様性や環境保全に対する自分の考えを深めると共に、自然愛護や生命の尊厳の心を養うことができる。

## (1) 生物多様性と人間 【理科】

段階 (時間)	学習活動・内容	形態	○指導上の留意点 ◇手立て ☆達成基準(評価方法)
課題把握 (5)	<p>1 2種類のタンポポの写真を確認し、普段見ているタンポポがどちらの写真であるかを考える。</p> <p>2 本時の課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">生物多様性ってなあに？</div>	グループ     一斉	<p>○セイヨウタンポポとニホンタンポポの写真を見せ、身の回りに咲いているタンポポは外来種であること理解させる。</p> <p>◇全員に課題を把握させるため、ワークシートに課題を記入させる。</p>
課題探求 (30)	<p>3 グループごとに人間が生態系に与えている影響を考え、グループでまとめた結論を発表する。</p> <p><b>【資料①】(悪影響)</b> 熱帯雨林の伐採問題や、外来種の放流に関する資料から、生態系が変化していることを考える。</p> <p><b>【資料②】(好影響)</b> 森林の管理と環境保全に関する資料から、環境保護がされていることを考える。</p> <p>4 異なる考えを持つグループに反対のグループからメンバーを派遣し、派遣先でそれぞれの立場の説明をする。その後、自分のグループに戻り、派遣先で受けた話し合いの内容について自分のグループで説明する。</p>	グループ       グループ	<p>○資料①と資料②をそれぞれ別々の班に配布し、資料から読み取ることができる内容を班ごとにまとめさせる。</p> <p>◇ディスカッションボードやマーカーペンを準備し、言語活動の振り返りが行えるようにする。</p> <p>○結論を発表する場面では、人間が生態系に手を加えることで、「好影響を与えている」か「悪影響を与えている」かのみを発表させる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">☆派遣先で資料を活用して説明することができる。また、派遣先での話し合いの内容について、自分のグループで説明することができる。(ワークシート)</div>
まとめ (15)	<p>5 教師の話を聞き、本時のまとめをする。</p> <p>○人間が自分たちの生活を豊かにするため生態系を壊している現状が見られる。</p> <p>○人工林や田んぼなど、人間の手によって環境が保護され生物多様性が保たれている。</p> <p>6 ワークシートに生物多様性についてわかったことや、環境保全に対する自分の考えをまとめる。</p>	一斉	<p>◇1時間の内容を振り返りやすくするため、配布した資料や、各グループのディスカッションボードを黒板に掲示し、自由に確認できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;">☆生物多様性や、環境保全について自分の考えをまとめることができる。(ワークシート)</div>

(2) 自然ふれあい体験活動 【 総合的な学習 】

段階 (時間)	学習活動・内容	形態	○指導上の留意点 ◇手立て ☆達成基準 (評価方法)
課題 把握 (5)	1 前時の復習をする。  2 本時の課題を把握する。 世界に1つの生物図鑑をつくらう。	一斉	○人間は生活を豊かにするため生態系を壊している。その反面、人工林や田んぼなど、人間の手によって生物多様性ができている。ことを思い出させる。
課題 探求 (35)	3 散策コース周辺に生息している生物を観察し、その生物の写真を撮影する。	グループ	○散策時の注意点を説明する。 ・危険の無いように散策すること。 ・生物を採取しないこと。 ○写真を撮影する場合、撮影対象の生物の特徴を記録しておくように説明する。 ○散策時に、コース周辺に分布している生物名を確認しておく。
まとめ (10)	5 本時のまとめをする。 ① 生物図鑑の作成 撮影した写真と記録した特徴を模造紙に貼り、生物図鑑を作成する。 ② 感想用紙をまとめる。	グループ	◇あらかじめ確認していた生物名や特徴などを教え、図鑑を作成させる。 ☆生物の特徴に着目した図鑑を作成することができる。(生物図鑑) ☆生物図鑑の作成や、散策時の感想をまとめることができる。(感想用紙)